

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

②施設・事業所情報

| | |
|---------------------------------------|---|
| 名称： ほうゆう保育園 | 種別： 認可保育園 |
| 代表者氏名： 施設長 横田 明子 | 定員（利用人数）： 60（52）名 |
| 所在地： 246-0023 神奈川県横浜市瀬谷区阿久和東3-45-2 | |
| TEL： 045-367-3563 | ホームページ： http://www.hoyukai.org/hoyu-hoiku/ |
| 【施設・事業所の概要】 | |
| 開設年月日 | 2015年4月1日 |
| 経営法人・設置主体（法人名等）： | 医療法人社団 鵬友会 |
| 職員数 | 常勤職員： 10名 非常勤職員： 10名 |
| 専門職員 | 保育士 16名 栄養士 4名 |
| 施設・設備の概要 | 居室数 保育室3室、給食室、給食事務室、保育事務室 設備等 園庭、畑、屋上テラス、乳児テラス、駐車場、調乳室、乳児トイレ、幼児トイレ、簡易シャワー、エアコン、床暖房、教材倉庫、備蓄倉庫 |

③理念・基本方針

保育理念：「子どもたちの幸せな日々のために」

保育目標：「なかよく元気にのびのびと」

- ①よく食べ、よく遊び、よく眠る健康な子ども
- ②いろいろなことに興味や関心をもち、よく考える子ども
- ③“やってみよう”と思う意欲的な子ども
- ④友だちを大切にする子ども
- ⑤感情豊かで思いやりのある子ども

保育方針：【「今日も一日楽しかった」「明日も楽しみ」と子どもたちが思ってくれる保育園に】

- ①楽しいこと、嬉しいことを保育士と子どもが共感できるよう、子どもたちとのふれあいを大切に
- ②子どもの目線に立って物事をとらえ、子どもたちにとってより良い保育を考える
- ③ご家庭と保育園とが協力し合い、一緒に子育てを楽しむ

④施設・事業所の特徴的な取組

「今日も楽しかった」「明日も楽しみ」と子どもたちに思ってもらえるような保育園づくりを方針としています。定員60名の小規模保育園ならではの温かい雰囲気の中、子どもたちはきょうだいのように関わりながら、のびのびと生活しています。3～5歳児は異年齢保育を基本とし、互いに影響を受けながら心も体も成長しています。また、年明けからは2、3歳児が合同保育を行いスムーズな進級につなげていくなど、年間を通して子どもたちの育ちを考慮した保育環境を整えています。

季節の行事として七夕、夏のお祭り、運動会、遠足(幼児)、クリスマス会、節分、ひな祭りなどを開催し、子どもたちは楽しく参加しています。また、3～5歳児クラスでは月2回、外部講師による体育指導を実施しており、広々とした保育室では年齢ごとにマット運動、跳び箱、鉄棒などに取り組み体を丈夫にしています。そのほか、日当たりの良い園庭では三輪車やボール遊び、砂場遊びなど、子どもたちがそれぞれに遊び込む姿が見られます。食育活動も計画に沿って行われ、3歳児になると毎年恒例の梅ジュース作りに取り組みます。

このような子どもたちの姿を保護者には毎日のお迎え時の会話だけでなく、チャットアプリを活用して伝えています。園だよりやクラスだより、行事の写真や動画などを配信し、子どもたちの楽しむ姿を見て保護者の安心につなげています。

職員は、子ども一人ひとりの成長・発達の度合いを把握し、その子どもに合った支援に努め、保護者対応においても園長のリーダーシップのもとに丁寧に寄り添っていくことを大切にしています。職員間の緊密な連携により、常に最善を尽くして活動する職員集団を目指しています。

⑤第三者評価の受審状況

| | |
|----------------|---|
| 評価実施期間 | 2023年5月1日 (契約日) ~ 2024年3月21日 (評価結果確定日) |
| 受審回数 (前回の受審時期) | 1 回 (2018 年度) |

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆多彩な食育活動や個々に配慮した食事の提供などに丁寧に取り組んでいます

年間食育計画に基づき、栄養士が中心となって多彩な食育活動を実施しています。野菜の皮むき、梅ジュース作りやお月見団子作りを体験するほか、4、5歳児には野菜の浮き沈み実験をして科学の目を養っています。栄養士による日本の伝統行事「七草がゆ」の話もあります。園に隣接する畑では、じゃが芋やさつま芋、季節の野菜の栽培から収穫までを行い、たわわに実ったみかんの収穫体験もしています。日々の献立では、誕生月の子どものリクエストメニューを提供し、また個々の嗜好に応じて主食の味付けに配慮するなど、細やかに対応しています。月1回の給食会議では活発に意見交換を行い、さらに充実した食育活動、食事の提供につなげています。

◆旬の話題や写真、動画の配信など保護者への情報提供に努めています

保育理念「子どもたちの幸せな日々のために」の実現に向けて、職員は子ども一人ひとりの成長・発達をとらえ細やかな支援に努めています。同時に子どもの幸せは保護者の幸せでもあり、保護者と一緒に子育てを楽しむことを目標に、送迎時の対話、チャットアプリによる配信や相談対応、随時の個人面談などを行い、保護者との信頼関係の構築に努めています。中でもチャットアプリによる情報提供は保護者に歓迎され、各クラスの様子や保育環境の工夫、生活習慣の獲得といったその時々話題に触れ、写真や動画配信も行うなど内容が充実しています。さらに今後は、保護者を園に招く機会を多くして、保育の見える化にも取り組む予定です。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受けたことで、ほうゆう保育園のよい点と課題点それぞれが明確となり、今後の園のあり方を考える、よい機会となりました。

第三者評価・利用者調査で高く評価をいただいた、子ども一人ひとりに寄り添った保育を今後も大切にしたいです。その為に必要な課題の改善についての知識をいただけたことは大きな学びと反省となりました。研修等を通して今後も学びを続け、園児にとっても保護者の方にとっても必要とされる園を継続できるよう、努力を続けていきたいです。また、全職員で全員の子ども達の育ちを見守る姿勢が保てるよう、職員の輪を大切にしていきたいと思います。

純粹に園として大切に考えたことを丁寧に評価してくださった保護者の皆様、評価機関の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり